

情報連絡員報告

(令和7年1月期)

情報連絡員 30名

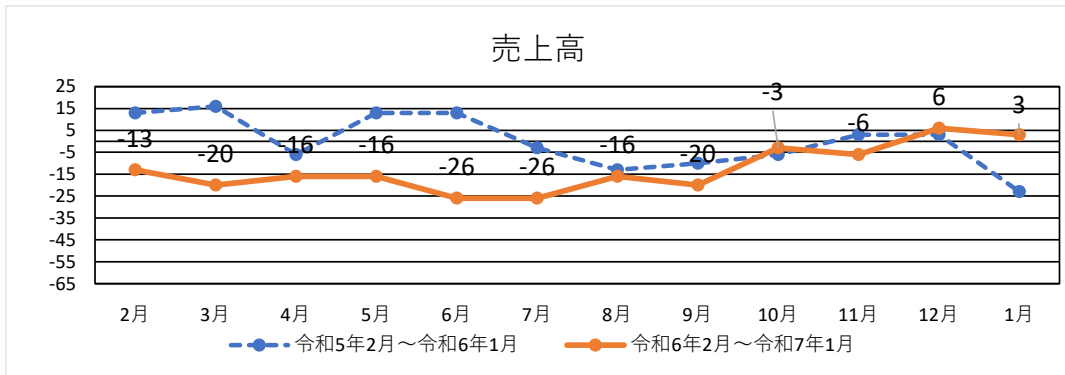
回答者数 30名

全体概況

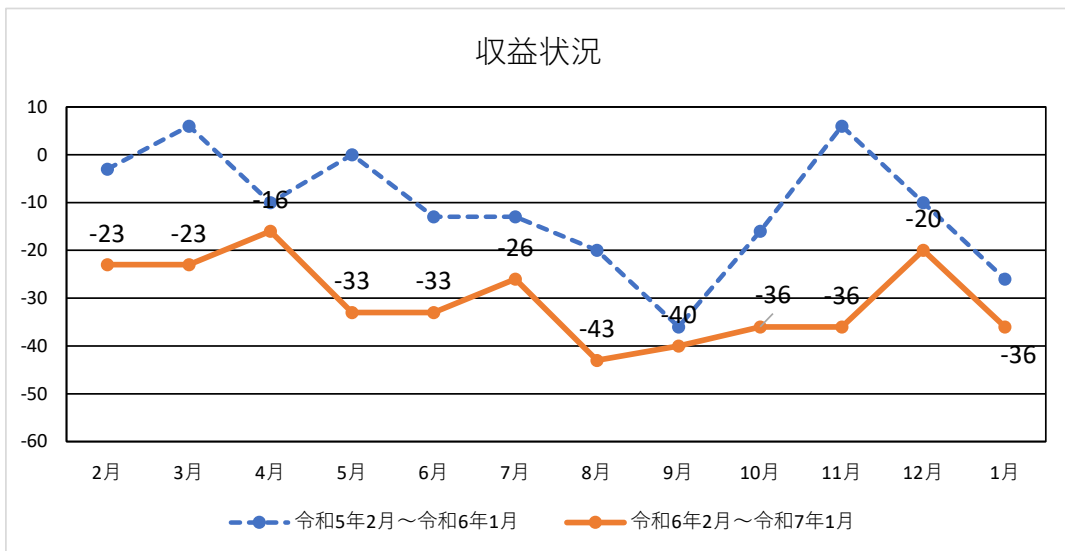
DI値は、前月と比較して、売上高は3ポイント低下、収益状況は16ポイント低下、業界景況は3ポイント低下となった。

1 主要3指標DI値推移

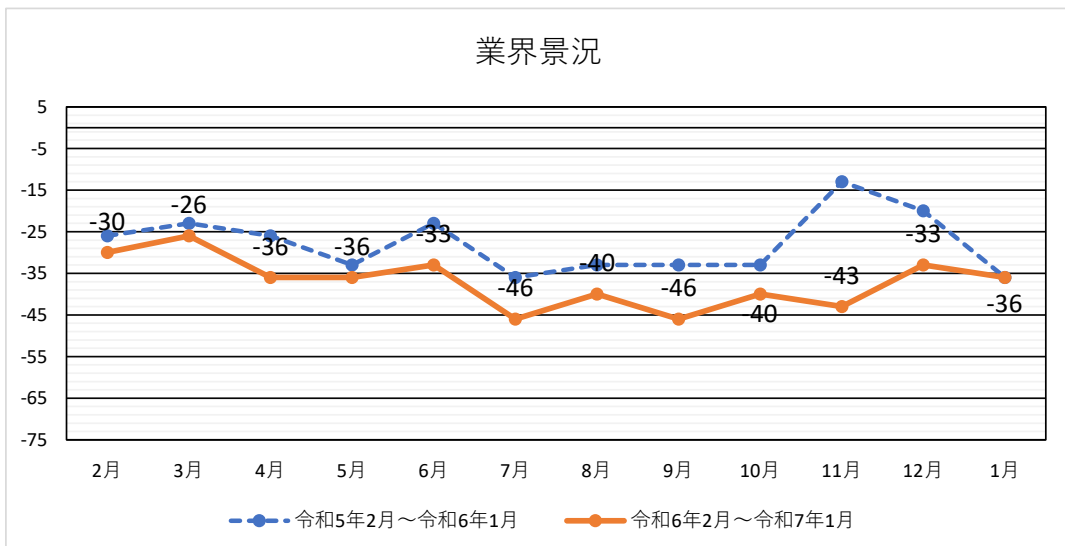
(1) 売上高



(2) 収益状況



(3) 業界景況



2 前年同月比の業種別景気動向

(DI値)

		売上高	収益状況	業界景況
製造業	食料品	↓	↓	↓
	木材・木製品	→	↓	↓
	出版・印刷	↓	↓	↓
	窯業・土石	↑	→	↓
	鉄鋼・金属	↑	→	→
非製造業	卸売	↑	↓	→
	小売	↑	→	↓
	商店街	→	→	→
	サービス	↘	↓	↘
	建設	↗	↘	↘
	運輸	→	↓	↓

↑

↗

→

↘

↓

(30以上) (10~30未満) (△10~10未満) (△30~△10未満) (△30未満)

※DI値 = [(増加・好転組合数 - 減少・悪化組合数) / 調査対象組合数] × 100

※網掛けについては、特に悪化した項目

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）	
製造業	木材・木製品	製材業	従業員の確保が厳しくなっている。外国人確保をもっと前向きに検討する必要がある。業界全体が停滞している中で、各個人が時代の流れについていき、常にアンテナをはり、対応できるようにスキルアップを図りたい。
	木材・木製品	製材業（プレカット）	1月期の生産坪数は先月からすると減少、ただ例年この時期は閑散期となるため年が明けると低迷する。前年同月比は98%と概ね去年並みとなった。1月から生産をスタートしている木造大型案件が住宅の減少分を具体的に穴埋めしてくれており、今年度末までそれが続く計画なのでそこには期待していきたい。しかし、業界紙では関連企業から2025年の予測について記載されており、概ね「大きく低迷した昨年並み」ではないかとの意見が多数であったことから、営業活動に注力していきたい。また、今年4月からの建築基準法改正による着工への影響も予測されており、さらなる大きなマイナス要因となりかねない。
	印刷	印刷・同関連業	引き続き、需要の停滞が深刻だ。例年1月、2月は受注量が少ないが、今年はなかなか回復しない状況が続いている。打開策を模索している。
	印刷	印刷・同関連業	県内業界は全体的に非常に厳しい月であった。需要の停滞はもちろんのこと、官公庁からの発注も例年に比べて低調な様子だ。業態変革に舵を切っている、または考えている事業所も多く、どのように利益を確保していくかということに一層注力していかなければならないと思う。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	1月期出荷数量昨年同月比101%、今年度累計出荷量では昨年対比109%となった。本年4月1日から価格改定を実施、1月から取引先に案内を開始した。来年度に向けての大型受注物件が少なく、需要想定を厳しく設定することとなりそう。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	1月期の出荷は昨年対比62.6%であった。
非製造業	小売業	機械器具小売業	当業界においては、新車の流通の平常化で「玉不足」と呼ばれたころから解消され、スムーズに流通が行われるようになった。しかしながら、ネクステージ延岡店オープンに伴い、近隣の組合員店では顧客確保が難しくなったようで、宮崎市も然り、大型販売店、ディーラーに販売が押されている状況が見受けられる。人件費の増加をしたい、しなくてははいけないと理解していても、なかなか踏み切れない組合員店もあり、問題は山積みのようなだ。
	小売業	石油販売業	国の燃料油価格激変緩和事業が12月に続き、1月も補助率が縮小され、仕入価格が値上がりした。価格競争や需要減少もあり、販売価格への転嫁が厳しい状況にある。
	小売業	LPGガス小売販売業	1月合成CP価格(サウジ通告価格)は630.0 ^{ドル/トン} (前月比△5.0 ^{ドル/トン})。12月MB価格(米国産平均価格)+(物流経費87 ^{ドル/トン})は487 ^{ドル/トン} (前月比△19 ^{ドル/トン})。対顧客電信売相場(12月平均)は154.77 ^{円/ドル} (前月比△0.08 ^{円/ドル})。EUがロシアに対しウクライナ侵攻をめぐる15回目の制裁措置に基本合意したことに加え、トランプ次期大統領も追加制裁を検討中としていることや、英仏独3国が国連安全保障理事会に対しイランが今後核兵器を入手するのを防ぐ目的で、必要であれば対イラン制裁の準備ができていると伝えたことなどから、世界的な原油供給不安の懸念が浮上し原油価格は微増、LPG価格についてはほぼ据え置きとの結果になった。
	商店街	延岡市	相変わらずの人手不足。需要はあるが供給が追いつかない現実に、売上げも伸び悩んでいる。外国人の雇用で補っているが、一時的な回避であって将来的な解決にはならない。
	商店街	宮崎市	周辺店舗の入れ替わりが多い。業種の偏りが増えた。
商店街	都城市	原材料の高騰が止まらない現状に、どの店舗も頭を抱えるばかりだ。人手不足も相まってどこも厳しい。即効性のある政策を切に願うばかりだ。このままでは小規模商店の集まりである商店街はなくなってしまうかもしれない。	
サービス業	観光業	1月期は例年とほぼ変わらない状況となった。インフルエンザ等の感染症を考慮して、リモートによる勉強会を行った。勉強会前に、今年で20周年を迎えるに当たり、各組合員が本年の抱負を述べ、心機一転、組合員一丸となり努めることを宣誓した。	

報告者名

宮崎県中小企業団体中央会

報告年月

令和7年1月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
サービス業	自動車整備業	車検の入庫台数は前年比20%減。ただし、板金塗装については入庫が多く、作業待ちの状態が続いている。
サービス業	自動車運転代行業	1月期は年末年始の連休等により、街への人流の減少に伴い、代行業も依頼が減少した。インフルエンザ等の流行も影響していると思われる。
建設業	管工事業	今期の公共工事(管工事)の受注状況は概ね順調である。
建設業	管工事業	最近、耐用年数を経過した水道管の破損事故をよく耳にするが、人手不足の現状からこれから先、対応できるか不安である。
運輸業	軽貨物運送業	1月度は、前半は連休明けで荷動き等がゆっくりしたペースで進行し、半ばから徐々に通常に戻った感じがする。燃料関係は異常な値上がりで、組合員の経営を圧迫している。運賃料金改定をお願いするも、話し合いのテーブルに着いてくれないのが現状だ。政府の方針に対して逆行しているのが現状であり、今後もアプローチは続けていく予定である。景気回復ははるか先ではないかと思われる。職種によって様々であるが、難しい問題であることは認識している。
運輸業	貨物運送業	原油価格は、欧米の複数の地域での寒冷気候による一段の冷え込みが予想され、暖房設備のボイラー用燃料の需要拡大への期待感から上昇する見込みで、それに伴い国内価格も燃油激変緩和の補助額が段階的に縮小していることも加わり上昇するのは確実で、組合員は経営への不安感が一層高まっている。